

非稼働病床運用計画書一覧表（大阪市二次医療圏）：病院

資料4-1

【西部】

No.	医療機関名	所在区	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び 病床	非稼働 病床数	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で 具体的な運用計画
1	W18 独立行政法人地域医療機能推進機構大阪みなと中央病院	港区	①	41床	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年1月から 建物・設備の老朽化等の理由から入院患者数が減少し病床利用率が低迷したため、人的資源の効率的利用を目的として1ヶ病棟を休棟し、病棟を集約した。（6ヶ病棟→5ヶ病棟） 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年9月1日に、西区、大正区、此花区に隣接し、弁天町直結の港区礎路に移転した。 移転後の立地は、交通の便が良い上に周辺人口も多く、連携可能な医療機関も増加することから、建物・設備の更新効果と合わせて入院患者数の増加は確実であり、移転前から移転の混乱が一段落した時点でのフル稼働を予定していた。 実際、10月以降入院患者数は着実に増加しており、11月平均で、病床稼働率が90%に迫る状況となっており病床確保が困難となっている。 以上のことから予定していた以上に患者数が増加しているため休棟している急性期病棟を令和2年2月より稼働開始。 なお、人員については令和元年度中のフル稼働を予定していたことから特に増員等の必要はない。
2	W21 社会福祉法人 恩賜財団 大阪府済生会泉尾病院	大正区	①	52床	<ul style="list-style-type: none"> 平成23年5月1日から必要看護師数を確保できず、1病棟を休棟としていた。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年10月1日より再稼働しており、現在、非稼働病床はなし。

【東部】

No.	医療機関名		所在区	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び 病床	非稼働 病床数	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で 具体的な運用計画
3	E①1	独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター	中央区	①	109床	<ul style="list-style-type: none"> ・西7病棟（平成27年10月に病棟集約）： 当該病棟への入院対象となる患者が減少傾向 にあり、効率的な病床管理体制とするため ・東8病棟（平成30年4月に病棟集約）：当 該病棟への入院対象となる患者が減少傾向に あり、効率的な病床管理体制とするため。ま た、病棟建替後の病床数を踏まえ、段階的に 病床数の調整を進めるため 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度を目途にした病棟建替計画を進めている。機構本部の承認を得たが、資金繰りも含め当院の経営状況を踏まえながら計画が進められることとなっている。令和2年の冬頃を目途に実施設計が確定予定であり、新病棟の最終的な病床数が固まるため、その段階で残りの病床数について整理したい。 ・なお、当院は現在高度急性期機能と急性期機能を有する総合病院であるが、将来的には地域の医療ニーズも踏まえ、緩和ケア機能をもつことや回復期機能を持つことも検討している。
4	E①10	社会福祉法人 石井記念愛染 園 附属愛染橋病院	浪速区	①	39床	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年10月1日から必要看護師数を確保できず、1病棟（20床）を休棟している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・養成学校訪問、実習の受け入れ等学校との関係強化を図り、就職説明会の参加など採用活動を積極的に行い、令和3年3月末までに、必要看護職員数を確保し、同年4月から非稼働の病棟を再稼働する。 ・なお、病棟のニーズ及び稼働率を考慮し、再稼働する病棟は、急性期から地域包括ケア病棟に転換の届出をする予定である。

No.	医療機関名		所在区	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び 病床	非稼働 病床数	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で 具体的な運用計画
5	E②2	医療法人 警和会 大阪警察 病院	天王寺区	①	53床	<p>・非稼働になった時期及びその理由について不明確な部分はあるが、非稼働病床については次の通り運用計画に基づいて検討している。</p>	<p>・医療法人警和会 大阪警察病院と第二警察病院は2026年の7年後を目途として、両院を統合した形での建替を計画している。</p> <p>・建替構想計画の検討においては、地域医療計画等に基づき、大阪警察病院580床及び第二大阪警察病院341床の許可病床数の範囲内で病床再編を行う。</p> <p>・また、許可病床数の猶予につきましては、猶予届（理由書）を大阪市保健所へ提出している。</p> <p>・なお、万一構想計画が変更又は中止された場合、建替によって減少した病床数については、速やかに病床数の変更届を提出する。</p>
6	E②3	医療法人 警和会 第二大阪 警察病院	天王寺区	①	55床	<p>・医療法人警和会は2019年4月1日付けでN T T西日本大阪病院を譲受したが、移行時における看護師等の退職により看護師不足となり、1病棟及び各病棟にまたがる53床を休床している。</p>	<p>・各病棟の休床53床については、2019年4月譲受時の看護師不足によるものであり、中途採用等の看護師確保に努めたところ、10月より4床再稼働することが出来た。</p> <p>・また、4月当初70%であった病床稼働も現在は月間平均90%以上となり今後とも入院需要が見込めるため、大阪警察病院附属看護学校と連携すると共に中途採用の看護師確保にも努力し病床再稼働に向け積極的に取り組みたい。</p> <p>・今回の譲受については大阪警察病院との統合建て替えが目的であり、2026年を目途に両院の病床を合わせた規模の高度急性期病院を第二大阪警察病院の地で建設する予定で、休棟中の病棟及び病床はその際整理する。</p>

【南部】

No.	医療機関名		所在区	非稼働病床 ①病棟単位 ②病床単位 ③病棟及び 病床	非稼働 病床数	非稼働になった時期及び理由	非稼働を改善するための実行可能で 具体的な運用計画
7	S①6	奥野病院	阿倍野区	①	9床	・平成30年4月に分娩を取り扱わなくなったため、産科病棟の9床を休床としました。	・2020年夏ごろまでに4床を慢性期病床として再開、2021年夏ごろまでには5床を慢性期病床として再開予定です。